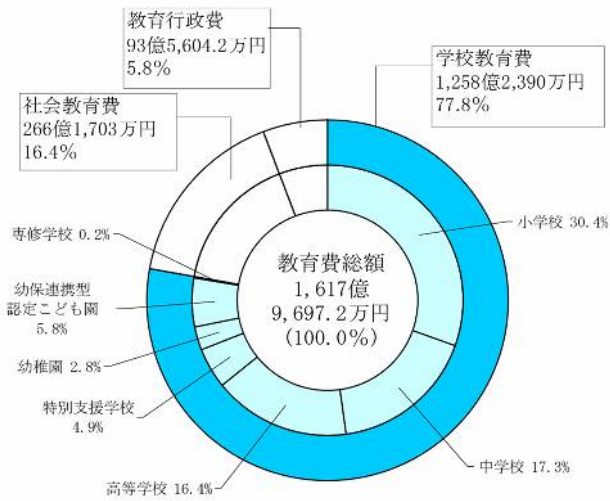


令和6年度 地方教育費調査

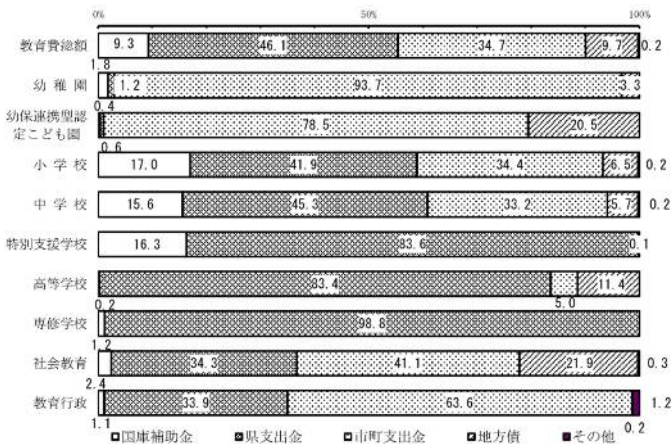
調査結果の概要

【教育費総額】



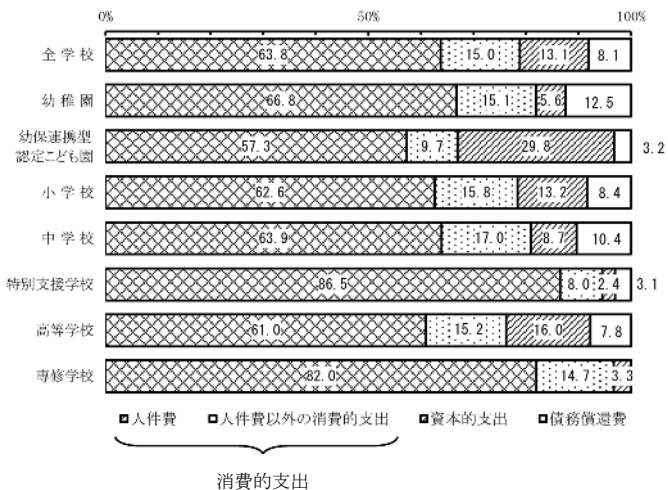
- ① 教育費総額は、前年度より44億7,968.8万円増加し、1,617億9,697.2万円となっている。
- ② 教育分野別では、学校教育費が1,258億2,390万円で全体の77.8%を占め、社会教育費は266億1,703万円で16.4%、教育行政費は93億5,604.2万円で5.8%の順となっている。
前年度の割合と比べると、学校教育費が4.0ポイント低下、社会教育費が4.3ポイント上昇、教育行政費は0.3ポイント低下している。

【教育費の財源内訳】



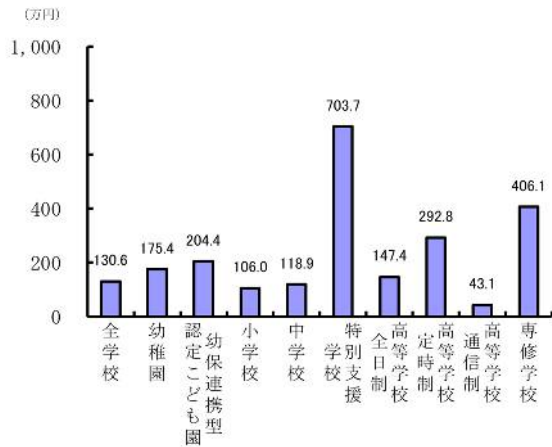
- ① 教育費総額を財源別にみると、国庫補助金が9.3%、県支出金が46.1%、市町支出金が34.7%、地方債が9.7%、そのほか0.2%となっている。
- ② 学校種別にみると、前年度に比べ、高等学校で県支出金の割合が8.9ポイント低下し、地方債の割合が7.9ポイント上昇している。
- ③ 社会教育費は、市町支出金の割合が大きく減少し、県支出金と地方債の割合が増加している。

【学校教育費の支出項目別内訳】



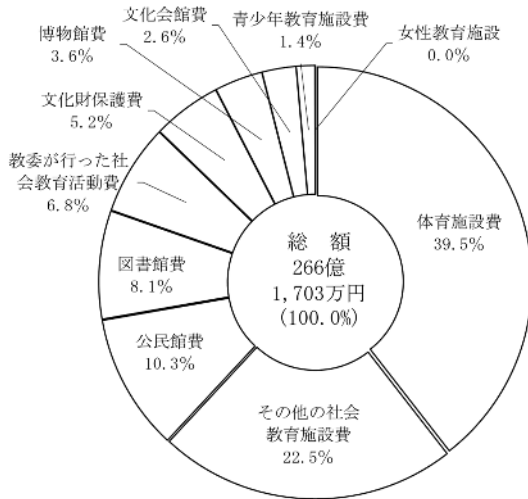
- ① 学校教育費は、前年度より28億3,546万円減少し、1,258億2,390万円となっている。
- ② 支出項目別に見ると、学校全体では、消費的支出が991億7,710.8万円で78.8%を占め、資本的支出が164億2,839.7万円で13.1%、債務償還費が102億1,839.5万円で8.1%となっている。
- ③ 学校種類別にみると、前年度に比べて小学校、中学校、特別支援学校、高等学校は減少し、幼稚園、幼保連携型認定こども園、専修学校では増加している。また、小学校、中学校、特別支援学校で、消費的支出の割合が増加し、資本的支出の割合が減少している。

【在学者1人あたり学校教育費】



- ① 在学者一人当たりの学校教育費は全学校で130万6,298円となり、前年度より2,415円増加している。
- ② 学校種類別にみると、前年度と比べ、幼稚園が15.8%、幼保連携型認定こども園が26.6%、高等学校が0.7%、専修学校が29.1%増加している。また、小学校が0.4%、中学校が3.2%、特別支援学校が15.4%減少している。

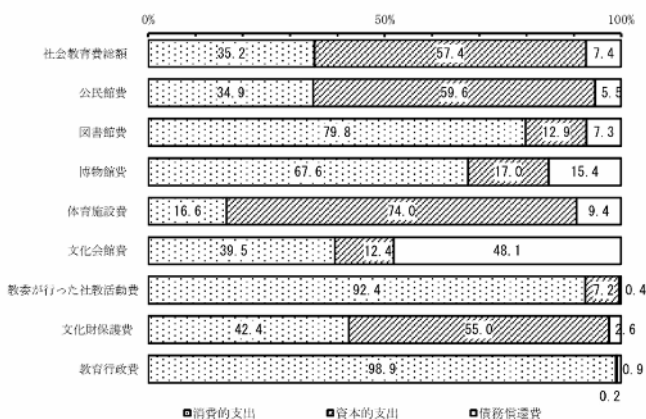
【社会教育費の支出分野内訳】



- ① 社会教育費は、266億1,703万円で、前年度より75億4,699.2万円増加している。
- ② 支出分野別では、体育施設費が39.5%、その他の社会教育施設費が22.5%、公民館費が10.3%の順となっている。

前年度と比べると、体育施設費が25億6,993.9万円、その他の社会教育施設費が40億7,251.3万円、公民館費が7億3,134.8万円、教委が行った社会教育活動費が2億6,199.9万円、文化財保護費が2億2,641.3万円、博物館費が1億2,506.4万円、文化会館費が8,875.3万円、青少年教育施設費が1,207.9万円、女性教育施設費が27.2万円それぞれ増加し、図書館費が5億4,138.8万円減少している。

【社会教育費・教育行政費の支出項目別内訳(抜粋)】



- ③ 支出項目別にみると、社会教育費総額では、消費的支出が35.2%、資本的支出が57.4%、債務償還費が7.4%となっている。
- ④ 県民一人当たりの社会教育費は、2万8,060円である。前年度と比べ、8,129円増加している。
- ⑤ 教育行政費は、93億5,604.2万円で、前年度より2億3,184.4万円減少している。
- ⑥ 県民一人当たりの教育行政費は、9,863円である。前年度と比べ、158円減少している。